



# 平戸

令和3年5月31日

横浜市立平戸小学校

〒244-0803

横浜市戸塚区平戸町542番地

TEL045-821-2329

## 耕すということ

校長 菅原 久忠

学校の田んぼや畑の活動でお世話になっている松原さんの指導のもと、2年生のさつまいもづくりや5年生の米づくりの学習が始まりました。子どもたちは、4月から5月にかけて、事前に畑や田んぼを耕します。

実は、昨年度の2年生は、大根を収穫した後、次の2年生のために、この「耕す」作業を始めていました。子どもたちは、冬の時期にしっかりと畑や田んぼを耕しておくというアドバイスをいただきました。土を掘り起こし、柔らかくし、太陽に当てたり、冷たい空気にさらしたり、空気を入れたりして土の力を引き出すそうです。害虫や病気を防ぐ上でも、この作業は大切であると伺いました。また、子どもたちは、一番根気のいる雑草取りの大切さも実感したようでした。私も、昨年から、玉葱やキャベツ、じゃがいもといった野菜づくりを通して、土づくりや堆肥づくりを教わっていますが、思うように進みません。でも、収穫した玉葱を食べたときの感動は忘れられません。当時の2年生が、松原さんに、お礼の気持ちも込めて、野菜づくりで学んだことをまとめたカードを渡しました。どのカードも子どもの思いや発見でいっぱい素敵な内容でした。その中でも、土の中の様子を、イラストや言葉で表現している内容が目立ったことが印象的でした。土の中の様子は、視覚的には分かりませんが、学習を重ねていくうちに、考えたり気付いたりしたことが増えていった結果、「見えないものが見えた（分かった）」のではないのでしょうか。



「耕す」という作業は、子どもの心の育ちにおいても似ているところがあるのではないかと改めて感じています。様々な学習の中で、心を「耕す」ということも、本校では取り組み続けています。心が耕されることで、子どもたちが豊かに育ってほしいと願っています。